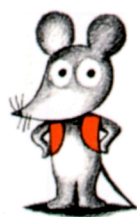


ねずみくんのチョッキ

上野紀子絵本原画展



©ポプラ社

きたかたしびじゅつかん

がつ にち どころび がつ にち にちようび
6月29日(土) ~ 7月28日(日)

おやすみ：げつようび

あいてるじかん：ごぜん10じ~ごご6じ

上野紀子絵本原画展

ねずみくんの絵本について

なかえよしを・作、上野紀子・絵の「ねずみくんを主人公にした絵本」は、1974年にはじめて『ねずみくんのチョコッキ』としてつくられました。それから、ねずみくんといろいろな動物たちのたのしい絵本は、ぜんぶで16さつもつくられています。

ねずみくんの絵本がおもしろいのは、この本にでてくるねずみくんと動物たちが、かおや形はちがっていても、わたしたちととてもにているからだと思います。

ねずみくんの絵本は、上野紀子せんせいが絵をかいています。この絵を写真にとって印刷して絵本にしますが、写真にとる前の絵を原画といいます。喜多方市美術館では、上野紀子せんせいから原画をお借りして、たくさんの人に見てもらうことにしました。

絵本で見るのとはちがった感じがすると思いますが、これから絵本を見る時には、この原画のことを思い出して下さい。きっと絵本がもっとたのしくなります。

《おかあさん、おとうさんへ》

こどものときに読んだ絵本や読んでもらった絵本のことはおとなになっても忘れることはありません。こどものうちにたくさんのお絵本に接することはこどもの人生に大きな影響を与えることとなります。この絵本の原画展をきっかけに、お子さんと触れ合う時間を、今まで以上に増やして下さることを願っています。

喜多方市美術館

ねずみくんのチョコッキ



おかあさんがあんでくれた赤いチョコッキ。ねずみくんにぴったりです。そこへ、あひるくんがやってきて「ちょっときせてよ」とかりました。あひるくんがきていると、さるくんがやってきてチョコッキをかりました。つぎにオットセイがやってきて……。つぎつぎにどうぶつが赤いチョコッキをきてみます。さて……



ねずみくんとゆきだるま

ゆきがふって、ねずみくんは、おおよろこび。ゆきがっせんを、したり、ゆきだるまを、つくったり、ねみちゃんと、ソリに、のったり。すると、うさぎくんが、スキーを、かしてくれました。すべったことのない、ねずみくんは……。

ねずみくんのしりとり

りすさんの はね



「ねずみくんのしりとり」
「りすさんのはね」
「ね、ねね…」
ねずみくんと おともだちの たのしいしりとりがはじまります。さあ、どんな どうぶつたちがでてくるかな？



こころのえほん

「こころ」って知っていますか。こころはどこにあるのでしょうか。美しい絵を見ながら、こころについて考えてみませんか。

KITAKATA CITY MUSEUM of ART

- 休館日 毎週月曜日
- 開館時間 午前10時～午後6時（最終入館は午後5時30分まで）
- 観覧料 大人 300 (250) 円 大・高校生 200 (150) 円 小・中学生 100 (80) 円※（ ）内は20人以上の団体割引料金
- 主催 喜多方市美術館
- 後援 喜多方市立図書館 耶麻地区幼稚園連絡協議会 耶麻地区保育所連絡協議会
- 協力 ポプラ社

びじゅつかんにきたこどもにはしおりをプレゼントするよ

